

## 赤ちゃんとお遊びしよう

子どもの豊かな成長のためには、遊びが大切です。親子でふれあいながら遊ぶことで、赤ちゃんは安心感をもち、同時に親も心がいやされ愛情を実感することができます。

また、子どもは「やってみたい!」という好奇心でいっぱい。遊びを通じてさまざまな力を獲得していきます。このころは、からだもしっかりしてきますので、からだを使った大胆な遊びにもチャレンジしてみましょう。



### いもむしごころご



高い高い



### ボール遊び



### ひこうき

びゅーん♪



おんぶや抱っこなどでお父さんやお母さんの身体にしがみつく遊びや、お布団を

ハイハイで超える遊びもおすすめです。姿勢の中心軸となる「体幹」を育てましょう。

子どもは、大好きな家族にさわってもらふことや、お歌も大好きです♪

お膝に乗せて一緒にゆらゆら揺れたり、手遊びもいいですね。

脳とところの土台づくりへとつながっています。



### お外に出て新しい世界を知ろう!

外の環境には、木、土、風、光、水などの自然があり、動いたり輝いたり形を変えたり、さまざまに変化します。ザラザラ、ドロドロ、さらさら、などあらゆる感触を味わえます。芝生の上、でこぼこ道、坂道…初めての体験をたくさん積み上げていきましょう。

## 親子で絵本を楽しもう

赤ちゃんは絵本そのものより、絵本を通して身近な大人と時間を共にし、やさしい声をきくことを求めています。絵本のストーリーを追うことより、ゆったりとした気持ちで、赤ちゃんと一緒に絵本を楽しむことが大切です。



赤ちゃんが絵を指でさしたり「アーウー」と声を出したら、「ワンワンね」「かわいいね」などときちんと応えてあげましょう。

好奇心が旺盛で、絵本をさわろうとしたり、投げたりすることもあると思いますが、自由にさわってみるのも大事な体験です。本の扱いは、周りの大人が本を大切に扱っていれば、自然に身についていくもので